

学 習 指 導 案

茨城県立土浦工業高等学校

授業実施日	平成19年10月25日(木) 4時限	教科・科目	工業(建築)・製図		
クラス(人数)	34人	指導者氏名	大好 悟		
単元	投影法	教科書名	建築設計製図		
		発行所	実教出版		
単元 目標	創造的な造形を行うためには、造形感覚や表現技術をみがいて応用力を養い、創造性を高めることが必要であるため、その基本となる投影法について学ぶ。				
指導 計画	投影法(三角法)の説明 投影図の書き方 等角図の書き方(本時) 投影図・等角図を製図用紙に書く	2時間 2時間 2時間	関心・意欲・態度を評価 思考・判断を評価 技能・表現・知識・理解を評価		
本時 目標	投影図から等角図を描くことができる。				
準備 資料	復習プリント(投影図1枚) 説明用プリント(等角図1枚) 練習用プリント(等角図5枚) 説明用プリントの等角図を段ボールで作ったもの				
学 習 の 展 開	学 習 内 容 ・ 活 動	学 習 態 度	時 間	指 導 上 の 留 意 点	
	導 入	復習プリントの配布	集団	5	
	展 開	復習プリント(投影図)を行う。 説明用プリントを使いながら描き方を理解する。 <u>Q 実線と点線の違いは?と発問する。</u> 練習用プリントを各自が進め、先生に採点してもらう。 円の描き方についてアドバイスを聞く。	集団 集団 個別	10 10 20	前時行った等角図から投影図を描く方法が理解できたかを確認し、今日はその逆(投影図から等角図)を描くことを説明する。 前時やった投影図は、それぞれの面について考えればよかったが、等角図では3つの面を1つに頭の中で合成する。上手くイメージ出来ない生徒も出てくる事が予想されるので段ボールで作った等角図を見せながら説明する。 進度に差が出る事が予想されるので、机間指導をしながら随時採点をしていく。 点線についても一度説明する。 円の描き方のアドバイスはここで初めて行うので全員の作業を中断させる。
	ま と め	片付けをして、次回の予告を聞く。 終了	集団	5	終了した者はプリントを回収する。 終了しなかった者は宿題とする。 製図机を元の形に戻す。
	観 点 別 価	関心・意欲・態度 思考・判断(本時) 技能・表現 知識・理解	進んでプリント学習に取り組めたか。 投影図から等角図をイメージ出来たか。 すべての問題(プリント)を終了したか。 製図用紙に正しく投影図と等角図を描く事ができたか。		